

まなびずし

Vol.13
2015.3

「まなびずし」・・・すべての人と人とがやさしい、あたたかいまなびずしで互いを見つめ、認め合い、誰もが目線を同じにして相手を思いやる平等な社会にむけて。

「明日笑顔になあれ・・・
夜回り先生いのちの授業」



水谷修さん講演から

…関連記事 P7…

ロゴマーク

男女の手で札幌「sapporo」の頭文字「s」を形どり、二つの手が札幌の木「ライラック」を包んでいます。マーク全体として、女性と男性が家庭生活・職場や地域などさまざまな場面で協力し、支え合う様子を表しています。



「女も男も暮らしやすい社会をめざして」日本女性会議 2014 札幌

…関連記事 P4…

【もくじ】 P2～P3
P4
P5
P6
P7
P8

素敵な人みつけた！ みよし キラッと☆インタビュー
「女も男も暮らしやすい社会をめざして」
女性と男性で輝く社会へ
あなた、わたしがいなくなっても大丈夫？
明日笑顔になあれ…夜回り先生いのちの授業
女性相談案内



ケヤキ並木が続く通称「いも街道」に御茶屋「江戸屋弘東園」の看板がみえる。ここ上富は江戸時代、川越城主柳澤吉保が命じ開拓した土地、木1本としてなかった原野に木を植えさせ、落ち葉をすきこんで畑にした。整然と区画されたその面影が都心からこんなに近いところにみどりのオアシスとして残されている。

初代は当時入植200軒余の農家の中に医者も兼ねた薬屋として江戸・白金から移り住んだという。4代目から農家となり、特産の狭山茶製造販売と、サツマイモの栽培をしている伊東さんご夫妻は12代目。

今回のキラッとインタビューは茶業とサツマイモ農家として多忙な中、地域活動や陶芸・絵手紙など多彩な才能を活かして活動している素敵なお夫妻に話を伺いました。



上富 弘東園
伊東 藏衛さん・久子さんご夫妻
おそろいのユニフォームでご登場

みよし キラッと インタビュー

代々続く農家に嫁がれたことについて、久子さんにお話を伺いました。

結婚前は幼稚園の先生をされていたという久子さん、藏衛さんとは青少年相談員活動(※)をしている時に知り合い、少しずつ愛を育んでいったそうです。(笑)

家のことや農家のことなど全く分からず、嫁いで来られたとのことですが、今となっては多くの方々が三富について研究に来ているのをみて、「いいところなんだなあ」と思っておられるそうです。

久さんは、お店のかたわら絵手紙「コロリエ」・陶芸「彩陶庵」・童話作家等多様な活動をしています。

それは嫁としてなかなか自由がなかったときに「家に居て何か出来ること」という、自分さがしの旅からはじまりました。

そんな久さんを藏衛さんは「何かやっているな?」と思いながら、応援してくれたそうです。(まさに今のワークライフバランスですね)

今は、外に出てみなさんに喜んでいただきたいので、南京玉すだれと津軽三味線をしているとのこと。



(※) 青少年相談員・・・子どもたちに夢と希望を与える「頼れるお兄さん・お姉さん」として、各地域で活躍する青少年ボランティアのこと。

★ 製品開発も手がけていらっしゃいますね

家族みんなで考えています。例えばこの羊羹(店頭に並んでいる)も私たちが和菓子屋さんと何度も何度も相談しながらたどりついた商品です。これは埼玉県の良いブランドになっていますし、全て三芳のもので作られており、心からお薦めするものをおいています。



★ 農家について

農業は定年が無いので、農村地区を見ていると健康管理も含めて、身体が動く間は農業をしている方がほとんどです。

私が親から教えられたのは「作物は足音を聞いて育つ」というのがあります。ということは「観察をよくしなさい」ということなのですね。野菜たちは、手をかければかけるほど返ってきますから。種をまいたらまきっぱなしでは、虫に食われておしまいだからね。それではダメなんですよ。

これは、子育てにも通じますね。子どもは親の背中を見て育つ、といいますが、私は長女にも「跡取りになってほしい」と言ったことは一度もありませんが、こうして家業を継いで皆で頑張ってくれています。

★ 男女共同参画についてどう思いますか？

男女共同参画という難しい言葉よりも、おもいやり・助けあいの気持ちだと思います。

★ 三芳町について

三芳町も振興会の会長をやってありますが、みどり豊かな田園都市としての町づくりをめざしてほしいですね。

又、上富に憩いの場となるようなところがあれば……。ギャラリーやカフェ等、少しでも上富のすばらしさを沢山の方に知っていただきたいです。

久子さんは好きなことをやっていたら、それが町の役に立っていた。藏衛さんは若い頃から町の様々な役職についてきたが、役を嫌がってやるなら、やらない方がいい。農家は家族で協力し合うのは勿論ですが、地域はみんなで盛り立てていかないと、例えばサツマイモ農家は今現在28軒ありますが、全員が農業の為町の為一致団結していくことが大切だと思います。

(三芳に対する深い熱い思いが、お二人の話からひしひしと伝わってきました。☆☆☆)

★ 藏衛さんは家業が中心ですか？

今は家業が中心かな？

あとは地域のこととか、役をやっているものだから……。

(現在、三芳町も振興会会長・三芳町商工会町づくり協議会副委員長・日本ボーイスカウト埼玉県連盟三芳団育成会長をしておられます)

でもこの間、10年ぶりに陶芸をやり、壺を上野の新日陶展に出展したら銅賞に選ばれました。

★ 家族のこと

娘さんが3人いらっしゃるようですが……。

長女が吹奏楽、次女は彫刻(お店の玄関にユニークな木彫りのブタさんがいます。)

三女は絵が好きで、4人で(久子さん、娘さん3人)トレーナーやTシャツ・タオルなどのデザインを依頼され描いています。このトレーナーの文字もデザインしたものです。長女がデザインの会社を立ち上げて家族で分担し、絵を描く担当・字を書く担当等行っています。

(家族でひとつのものを作り上げることは素晴らしいですね☆☆☆)



絵手紙教室の生徒との製作



オープニングはアイヌ古式舞踊

日本女性会議 《男女共同参画》2014札幌

～女も男も暮らしやすい社会をめざして～

10月17・18日「日本女性会議2014 札幌」

に4名で参加してきました。

心に残ったこと・感じたことは・・・。

1日目

男女共同参画の視点に立った意識改革をするには ～オリジナルシナリオの活用を～

■一人暮らしの梅さん(85歳)はゴミを出す日がわからなくなり、いつのまにか梅さんの家はゴミ屋敷となってしまった。そのことに気付いた近所の方・町内会の方たちが話し合いを持つことになる。

町内会で起こった事件を柱に地域社会での男女共同参画について話し合う。

- ①町内会長や自治会長は男性が行うという意識を変える。
- ②地域包括センター・民生委員等横の繋がりが必要。
- ③女性も積極的に町内活動に参加する。

●いろいろな場面の問題点を題材に、シナリオにして演じてみせることで、参加者には解りやすく理解も深まり、話し合いが進めやすくなっていった。シナリオの活用は、この先の推進会議の活動にいかしていけるようにしたい。

(齊藤)



大会宣言から

*変わるべきは、わたしたち自身でもあり、わたしたちの身近な人たちに、男女共同参画社会という希望を語り続けましょう。

*子どもたちに、性別を理由とした区別をしてはいけないと何度でも教え、その役割分担は、性別により固定してはいけないことを伝えましょう。

*あらゆる女性や弱者への暴力を否定し、個人が自分らしい生活や職業を選ぶことのできる知恵や工夫を分かち合いましょう。

高齢社会と男女共同参画

～女も男も！地域で支えるケアと福祉～

■地域包括ケアシステムは・・・

システムではなくネットワーク。だからその地域ごとの特色がでる。都会と過疎地では当然有り様が違ってくる。

●札幌市における介護問題は・・・

- ①家族をあてにしない。
- ②郡部から大都市に高齢者が移住してくる。
- ③低所得が多い。
- ④介護を担う人材が不足してくる。

……このことは全国の厳しい状況を先取りしていると思う。

●男性は地域社会との付き合い方が下手！

- ①自宅に閉じこもりがちになる
- ②関わり方を拒否する→孤立化による社会からのドロップアウトSOSを発しない人々(セルフネグレクト)→孤立死・ゴミ屋敷等

……これらの問題に遭遇したとき私たちはどのような解決手段をとることができるか・・・

(濱砂)

■これまで、介護問題はイコール嫁(女性)問題であったが、まさに男女共同で対処していかなければならない。介護施設の利用法、介護家族への支援、健康年齢を維持する地域の力、すべてが男女共同作業であることが望ましい。

■高齢化は負のイメージが強いが、決してそうではなく、「ニーズと人をつなぐ」観点から高齢者と無職の若い人をつなぐと、そこに「仕事」が発生し未来に繋げていけるという話に救われる思いがした。

(豊留)



男女共同参画社会づくりに 向けての全国会議

6月27日 日比谷公会堂

《テーマ》

～女性と男性で輝く社会へ～

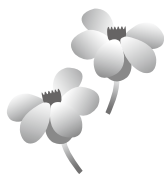
紅一点じゃ足りない。家事場のパパチカラ

女性にとって働きやすい環境をつくり女性の労働機会、活動の場を充実させることが、これからの日本を支える大きな課題であることが強く感じられた会議であった。女性が輝く社会を目指すには、女性の活躍が日本の経済成長に欠かせない。女性の活躍推進を図り、日本における女性の就業率アップに向けて、結婚・出産・子育て・再就職等女性が働きやすい環境の確保を目指しての具体的な目標などが紹介された。

駐日オーストラリア大使が、「豪州における女性活躍推進の取組」と題して、これまでに自国で進められた施策（幅広いジェンダー平等を推進し、男女格差縮小や、官民共同で、女性活躍のための理解を求める男性への意識改革）などが紹介された。

第2部パネルディスカッションでは、伊藤忠商事、日立製作所、ローソン、フェザーリングジャパン等企業における女性活躍推進の取組事例や女性管理職登用等の実態について発表があった。女性の活躍を継続させていく取組として光ったのは、イクボス（部下のワークライフバランスに配慮し、会社での成績を上げていく上司）の存在だった。

全国会議に出席して、高齢化社会をはじめ、生活に関わる身近な課題に、世界同時進行で男女共同参画が大切なキーワードになっていることを強く感じた。（山崎）



日比谷公会堂にて



2日目

記念講演

山口 香(筑波大学体育系准教授)
柔道家



柔道は、他のスポーツと違い、投げられたときのための受身の練習から入る。嘉納治五郎が女性に柔道を教えたのが始まりだが、日本において女性が試合に参加することはできなかった。福田敬子さんは、結婚をあきらめアメリカで柔道の普及に努めた人。アメリカで、ラスティ・カノコギさんが男性に混じって試合にでて非難されたが、その後女性が試合をすることを広めた。柔道をするには「強く・やさしく・美しく」をモットーに。

- ・人間として強くなる
- ・言える勇気を持つ
- ・女性の自立を目指す

以上のことも含まれている。人間として、相手の立場に立って考えること。人の痛みに関心を持ち、違いに気づき、違いを受け止めることが社会全体の幸福であり、自分にもかえってくる。相手の話を聞くこと、そして話しをすることができるように。→違いを尊重し違いに価値を見いだす。

(齊藤)

実行委員長 林 美枝子

(日本医療大学 保健医療学部教授)

●札幌に集い実る。そして未来へ●

今、
行っていることはプロセスにすぎない。
けれども
そのプロセスは非常に大事で
曲がり角の向こうに
未来の景色が見えるはず。

共に生きる女と男のセミナー

平成26年10月11日
藤久保公民館



中澤 まゆみさん（ノンフィクション・ライター）

あなた、わたしがいなくなっても大丈夫？

中澤まゆみ氏（ノンフィクションライター）をお迎えしました。「**むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく**」伝えたいというのがモットーでした。

講演では老後の不安を安心に変える知恵と工夫と在宅医療の可能性について、解り易くお話ししていただきました。

三芳町の人口=3万8,285人

(2014年8月末日)

高齢者数=9,700人(25%)

70代までは男女比はほぼ半々だが、80代から女性が多くなる。

90歳以上 284人 (男51人、女233人)

100歳以上は11人 (男1人、女10人)

●三芳町の人生100年時代

長生きするための秘訣

- 「記憶力がたしか」
- 「自立心がある」
- 「好奇心が旺盛」
- 「長年の趣味がある」
- 「適度な運動をしている」
- 「言いたいことを言っている」
- 「指先を使っている」
- 「感謝の気持ちを忘れない」

共通項=脳を楽しく活性化している

●自分力の基本とは？

地域のつながりがなぜ大切なのか

「金もち」よりも「人もち」「心もち」

家族の力のみで、介護を支えることは不可能
公的なサービスだけでは十分とは言えない
地域のさまざまな支援者、人的資源を見つける
医療・介護・福祉、そして私たち自身のささえあい

- ちよつとずつのおせっがい
- できることを、できるだけ
- 「社会資源」としての高齢者になる

●「人もち力」をつける

これからの人生を自分らしく生きるためには…

ひとり一人の健康状態と予算
生活環境に合わせたケアのネットワークを
「自分力」「人もち力」「地域力」
で、つくっていく

国の財政には限界も・・・
今後の超・超高齢社会
問われているのは私たち自身です

●自分らしいケアネットをつくる

日本の平均寿命は男性80歳、女性87歳の時代です。また、健康寿命という言葉を目にしますが、とても大切なことであると思います。①健康 ②お金 ③生きがい、今社会問題にもなっている認知症ですが、4人に1人が介護を受ける時代に来ているのではないかとされています。

そうならない為にも自分力を持つ、それには ①バランスのよい食事 ②記憶力・自立 ③運動 ④指先を使う ⑤友達を多く持つ(前向き) ⑥他人のせいにならない(自分力) ⑦趣味を持つことが大切。そして最近、医療と介護、自宅と医療、介護予防をしながら地域でケアをしていける様に変わって来ている。誰でも認知症になりうることは十分考えられると思いますので、一日一日を大切に生きていきたいと思います。

(渡邊)



ヒューマンフェスタ2015

平成27年1月31日
コピスみよし

《テーマ》『明日笑顔になあれ・・・夜回り先生いのちの授業』



水谷 修さん(花園大学客員教授、上智大学非常勤講師)

荒れた定時制高校の教師を担当したことからはじまった27年間、夜のたまり場を回りはじめたという先生の話す内容は驚くことばかり。

中高生、若者が誘惑の多い夜の世界に身を置いた時どうなるか？

若者に声をかけ悩んでいないか、困っていないか、相談はないか、話を聞くよ、と同じ目線になり身体ごとぶつかっていった。

13年前は夜の部屋で問題をかかえる多数の子供がいるという事に気づき、水谷青少年問題相談所も開設し、TEL

- ・メールで受け又、時にはそこにかけつける。
- ・心の病は太陽にあたり、身体を動かして夜はぐっすり眠る。美しいものをさがすことによって、心を強くしてくれると話す。
- ・今、沢山の救われた子供たちが、先生の片腕として全国で悩みをかかえている子供たちを救っている。

先生の提唱する8時・3時の登下校の見守りで一声をかけてあげる運動は、私達も身近にできることもかもしれませんね。

*ツリーへのアンケート、たくさんの方の参加ありがとうございました。

男女共同参画・情報誌「まなざし」・オレンジリボン(児童虐待防止)いずれも今後の周知が必要な課題です。



アンケートにたくさんのご意見をいただきました。

特に若者や中学生、高校生、孫達にきてもらいたかった、という記入が多く先生の子供を大切にす熱い思いは会場のみなさんを心に強く響いたようです。以下に参加者の声をいくつか紹介します。

●とても勉強になりました。私は教員なのですが、最近思い通りに行かず考えていましたが、もやもやが「ぱっと」消された気がします。「1日10個認める」実践したいと思います。ありがとうございました。●とてもよかったし、もったいない。もっと沢山の若者が聞けたらいいのに、と思いました。中学生、高校生、親、教育者の全ての人に伝えたいと思いました。●体験に基づく話であり、説得力があった。語りが上手で皆聞きほれていた。●水谷先生のテンポの良い話。はぎれの良い口調の中から感動！心地よさを痛い程得られた。思わず涙がこぼれました。

平成26年度

三芳町男女共同参画推進会議

活動報告

推進会議では、この1年間毎月の定例会議(第2金曜日、午後7時から9時)の他、次の様な活動をしてきました。

- 6月19日～26日 全国男女共同参画週間(藤久保公民館にてパネル展示)
- 27日 男女共同参画社会づくりに向けての全国会議(5名)
- 8月30日 男女共同参画推進フォーラム・村木厚子氏特別講演(10名)
- 9月1日 三芳町議会・男女共同参画質議傍聴(2名)
- 10月10日 民生・児童委員定例会において、男女共同参画について説明(2名)
- 10月11日 共に生きる女(ひと)と男(ひと)のセミナー(中澤まゆみ氏講演)
- 10月17日～18日 日本女性会議2014札幌(4名)
- 11月18日～4回 まちづくりワークショップ(延6名)
- 1月31日 ヒューマンフェスタ2015(水谷修氏講演)
- 3月1日 情報誌「まなざし」第13号発行
- 15日 まちづくりフェア出展

●その他下記の会議に委員を派遣しています。

- ①防災会議
- ②次世代育成支援対策地域協議会
- ③子ども・子育て審議会
- ④社会教育委員
- ⑤社会福祉協議会評議員
- ⑥下水道審議会
- ⑦被表彰者選考委員会
- ⑧行政改革懇談会
- ⑨総合振興計画審議会



わたらしいわたし...であるために

みよしまち女性相談

★女性の視点に立った悩み・困りごと相談

- 日 時：毎月第2・4金曜日／午前11時～午後3時20分(予約制)
- 場 所：役場1階 住民相談室
- 相談員：専門の心理カウンセラー(女性)
- 相談料：無料
- 申込み：総務課 人権推進担当 TEL.049-258-0019 (内線404・405)

※電話または面談での相談ができます。秘密は固く守ります。相談員は、女性ですので安心してご相談ください。

平成26年 女性相談状況報告

50件の相談があり、
主な内容は家族のこと(11件)、
離婚(9件)、心と体(9件)など
が多く、他には自分の性格、
職場の人間関係等
ありました。

DV等に関する相談窓口

★夫や恋人など親密な間柄で行われる暴力行為を、一般的にドメスティック・バイオレンス(DV)といいます。DVは犯罪にもなる許されない行為です。《緊急の場合は迷わず110番!》

実施機関・相談の名称	受付日	受付時間	電話番号
埼玉県配偶者暴力相談支援センター (埼玉県婦人相談センター DV相談担当)	月～土 日・祝	9:30～20:30 9:30～17:00 (年末年始を除く)	048-863-6060
With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)	月～土	10:00～20:30 (祝日・年末年始・第3木曜日を除く)	048-600-3800
警察安全相談 (東入間警察署 生活安全課)	月～金	9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)	049-269-0110
埼玉県警察犯罪被害者支援室	月～金	8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)	0120-381858

平成26・27年度(第7期) 三芳町男女共同参画推進会議委員



笠間紀子
酒井妙子
富澤喜代美
山崎和美

神奈川三樹江
志村美代子
豊留エチ子
横山八重子

齊藤富美江
高橋昌子
濱砂豊子
渡邊好子

中澤まゆみさんのセミナー参加者の声

- ・長生きしていると地域の力がとても必要に思いました。(70代)
- ・おひとり様もこれからの課題で興味があった。できれば夫も同席、男性も多くの参加が望ましかった。(70代)
- ・自分力、人もち力、地域力、素晴らしい言葉ですね。(60代)
- ・初めて一人暮らしのきびしさを知りました。(60代)
- ・一人一人が生き生きと輝ける地域(みよし)であってほしいと思います。(50代)

ご意見・
ご感想をお待ち
しています。

〒354-8555
三芳町大字藤久保1100番地1
三芳町役場 総務課 人権推進担当

「まなざし・お便りコーナー」宛
FAX. 049-274-1055

E-mail: manazashi@town.saitama-miyoshi.lg.jp